



ごみスリムリっとう 52 vol.

事業報告

環境を考えるポスター 受賞作品

今年度の環境を考えるポスターには、136名の応募がありました。
受賞作品は、11月18日（金）から11月25日（金）まで栗東市立図書館本館にて展示しました。
みなさまの思いのこもった作品をありがとうございました。

最優秀賞



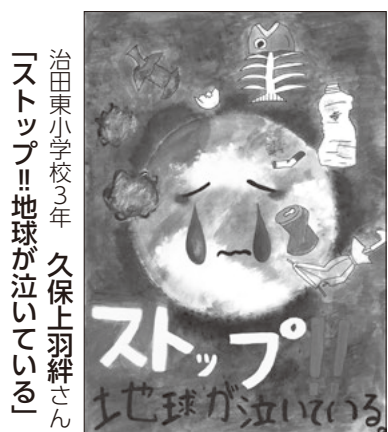
治田東小学校5年 藪内架夢さん
「プラゴミ削減～海の仲間が泣いている～」

優秀賞



大宝西小学校1年 古谷理音さん
「食べ残しはやめよう」

優秀賞



治田東小学校3年 久保上羽絆さん
「ストップ!!地球が泣いている」

佳作



治田小学校5年 寺田芽生さん
「食品ロスは作った人が悲しむ」

佳作



金勝小学校6年 津呂琴葉さん
「ゴミの減量と正しい分別を」

佳作



大宝小学校6年 原田絆菜さん
「ごみをへらそう」

事業報告

フードドライブにご協力いただきありがとうございます

栗東市では、10月の「食品ロス削減月間」に合わせてフードドライブを実施されています。
昨年度と同じくアル・プラザ栗東（10月25日（火））、栗東市役所庁内（10月26日（水））の2箇所で開催し、合計401個、157.6キログラムの食品を提供いただきました。

なお、提供いただいた食品は、栗東市社会福祉協議会を通して、市内で食料支援を必要とされる方や子ども食堂、学童保育所等に寄付されました。

たくさんのご協力をありがとうございました。

※フードドライブとは、各家庭で余っている食品を持ち寄り、必要とされる地域の福祉施設・団体、フードバンクなどに寄付する活動です



事業報告

栗東市生活環境保全推進会議との合同視察研修

11月24日(木) 豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社(滋賀県蒲生郡日野町)

毎年日本国内で約60万トン回収される廃棄ペットボトルを原料として、飲料用ボトルに使用できるリサイクルペットを製造し、ペットボトルの国内循環に貢献されている会社です。

●ペットボトルのリサイクルには2種類の方法があることをご存じでしょうか？

①カスケードリサイクル

使用済ペットボトルを原料に、ペットボトルとは異なる用途の製品をつくる方法

②水平リサイクル

使用済ペットボトルを原料に、再びペットボトルを製造する方法

ペットボトルからペットボトルへと何度でも繰り返し再生することができる高度な循環型リサイクル

※日本では販売されたペットボトルの94.0%が回収され、86.0%がリサイクル（熱回収込みの有効利用率は98.0%）されていますが、水平リサイクルの割合は20.3%にとどまっています。

豊通ペトリサイクルシステムズ(株)では、②の水平リサイクルに取り組まれており、複数の使用済ペットボトルの洗浄・破碎工程等を経て、高純度の原料を製造されています。

視察研修では、使用済ペットボトルが原料になるまでの工程を見学し、リサイクルの過程で異物の除去に時間や労力がかかっていることを学びました。ペットボトルのキャップやラベルがしっかり除去された、きれいな使用済ペットボトルはリサイクルするうえで非常に助かるということです。視察研修を通して日頃の分別の重要性について再認識する機会となりました。



編集・発行 栗東市ごみ減量リサイクル推進会議

栗東市ごみ減量リサイクル推進会議事務局（栗東市役所 環境政策課 生活環境係）

TEL 077-551-0341 FAX 077-554-1123 Eメール kankyoseisaku@city.ritto.lg.jp

ペットボトルは大切な資源です 分別収集にご協力ください

1 ペットボトルのマークが付いているか確認してください

飲料用、酒類、調味料等で、下記のマークがついているものが収集対象となります。



ペットボトルの識別表示マーク

リサイクルできるペットボトルの種類

清涼飲料用	茶系飲料、炭酸飲料、スポーツドリンク、果実飲料、コーヒー飲料などの容器
酒類用	焼酎、本みりん、清酒などの容器
特定調味料用	しょうゆ、しょうゆ加工品、みりん風調味料、食酢、ノンオイルドレッシングなどの容器
乳飲料等用	乳酸菌飲料、乳飲料などの容器

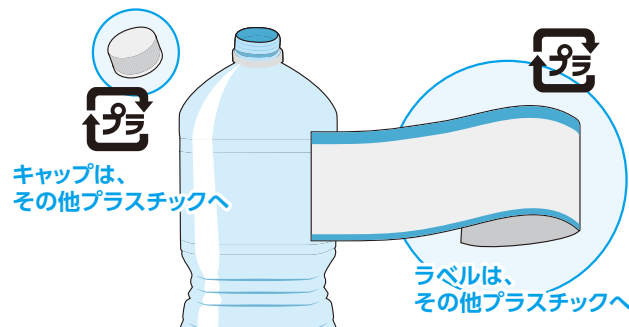
※食用油脂を含むもの（食用油、オイル成分を含むドレッシング等）、香辛料が多く使われているもの（ソース、焼肉のたれ等）、非食品用途全般（洗剤、シャンプー、化粧品、医薬品等）のボトルは上記に指定されるリサイクルできるペットボトルではありません。

2 キャップとラベルは必ずはがしてください

取り外したプラスチック製のキャップやラベルは、その他プラスチックとして出してください

※ラムネボトルはビー玉やキャップ等を外して出してください。

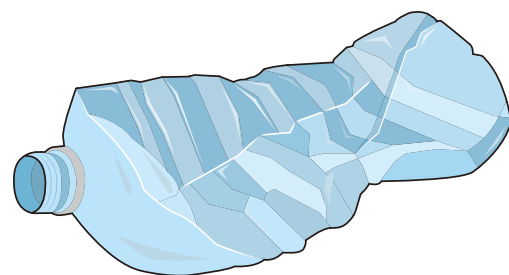
ビー玉：破碎ごみへ
キャップ：その他プラスチックへ



3 中をすすいでください



4 ペットボトルは押しつぶしてください



●ペットボトルとして出せないもの

- PETマークの表示のないプラスチック製容器等 → その他プラスチックとして出してください。
- 汚れが落ちないペットボトル → 可燃ごみとして出してください。

5 コンテナにペットボトルを山盛りに入れしないでください

収集時にコンテナからペットボトルがこぼれ落ち、周囲に散乱する可能性がある場合は収集されません。空いているコンテナを十分に活用してください。

※コンテナが足りない場合は、自治会の申請により追加配布することができます。

○収集できる参考例



支障なく収集できる量



キャップとラベルがない状態

✗収集できない参考例



収集時にペットボトルがこぼれ落ち、周囲に散乱する可能性があるため収集されません



キャップとラベルが取り外されていないため収集されません

●ペットボトルをリサイクルしたらどうなるの？

・温室効果ガスの削減につながります

日本で利用されている指定ペットボトルの、資源採掘からボトル生産・利用・排出回収・リサイクル・再利用（利用不可物の廃棄処理を含む）までのCO₂総排出量は2,059千トンになります。これは、リサイクル・再利用が無い場合の3,528千トンと比較し、約42%少ない結果でした。
参考出典：PETボトルリサイクル推進協議会「PETボトルのリサイクルによるCO₂排出量の削減効果算定（2019年度実績）」

・限りある資源の節約につながります

分別収集されたペットボトルは、細かく砕かれて「PETフレーク」「PETペレット」とよばれる原料となります。その原料がさまざまな製品に生まれ変わることで資源の節約となります。

〈ペットボトルから生まれる製品〉

- 繊維製品（衣類、カバン、自動車関連材料など）
- シート製品（卵パック、食品トレイ、クリアファイルなど）
- ボトル製品（洗剤用ボトル、飲料用ボトルなど）
- 成型品（文具、回収ボックス、ゴミ袋など）

限りある資源を有効活用するためにペットボトルの分別を引き続きお願いします。

